

ATP 合同新人研修 Web セミナー2020 開催報告

例年、新入社員が一堂に会し、開催されます ATP 合同新人研修セミナーですが、本年度はコロナウィルス感染拡大防止の観点から、Web 会議システム「Zoom」を利用したウェブセミナー形式での開催となりました。講義の内容も精査し、Web でも開催可能なカリキュラムを実施致しました。

概要

- ・日 程： 2020年4月2日(木)
- ・実施会場： ATP 事務局
- ・参 加： 31社 146名

スケジュール

| 時 間 | 内 容 | 社 名 | 役 職 | 講 師 名 |
|-------------|--------------------------------|----------------------------|--------------------|--------|
| 10:00~10:20 | ATPとは ~製作会社の働き方改革など | (一社)ATP | 副理事長 | 清水 哲也 |
| 10:30~12:30 | コンプライアンス研修 | 日本テレビ放送網(株) コンプライアンス推進室 | 考査部 担当副部長 | 福井 宏 |
| | | | 法務部 部次長 | 後藤 俊哉 |
| 12:30~13:30 | 昼食休憩 | | | |
| 13:30~15:00 | 「マナー研修」 ・挨拶・名刺交換 ・電話対応 他 | オフィス・グランツ | 代表取締役 | 井原 恵津子 |
| 15:15~16:15 | AD 最初のさいしょ | IVSテレビ制作(株) | 常務取締役 制作本部 本部長 | 野澤 尚弘 |
| | | | 制作本部 シニアプロデューサー | 三好 剛 |

Web 研修の様子

「ATP とは～製作会社の働き方改革など～」

ATP の清水副理事長より、「ATP の主張」や、ATP の働き方改革への取り組みなどを分かりやすくお話頂きました。

【受講者の声】

「今後テレビ局とお仕事をしていくうえで、ATP という連盟の一員という自覚と責任を持ちながら、イコールパートナーとして仕事していくのが大切だと学びました。新社会人としてまだ右も左もわからない状態のため、ATP の存在はとても心強いです。」

「製作会社としての権利を認識できた。短い時間だったのでまだまだ理解したとは言い難いが製作会社が抱える問題はいくつもあり、働く人間それぞれが現状を常に確かめ仕事に勤しまねばならないと痛感した。」



「コンプライアンス研修」

番組制作現場の新人に求められる「法令順守」とは。基本的な社会人のルールから、SNS を仕事で使用する際の注意点などを学びました。受講者は、「視聴者ファースト」「視聴者の了解」という言葉を意識して学ぶ機会となりました。



【受講者の声】

「視聴者ファーストの重要性を知れたこと。視聴率にこだわりすぎて、制作過程を疎かにしてしまう危険性を知れたこと。」

「「視聴者に不快に思われないか」「誰かを傷つけていないか」「誰かに迷惑をかけていないか」を重視する"視聴者ファースト"の考え方を意識することが大切であることがわかった。」



「マナー研修」

社会人としての心構えから、電話の取り方、名刺の受け渡し方など実用的なスキルまで。

実際にオンライン上でのやり取りを通して、すぐ実践できるマナーのノウハウを学びました。



【受講者の声】

「名刺交換や電話対応、ビジネス文書など番組制作の前に社会人として身につけておくべきマナーを学びました。ラウンドケーキを頭の片隅に置き、私の些細なミスが会社の評判に繋がることを意識したいと思いました。」

「これから社会人として生きていく中で、ビジネス文書の作成の仕方や、電話対応など、不安に思っていたことが多くあったのですが、丁寧に教えて頂いたことで少し自信ができました。失敗を恐れずに、どんどん実践していきたいと思います。」

「AD 最初のさいしょ」

番組づくりの現場には、どのような役割の人がいるのか。収録現場の動画やパワポを交えながら、AD の心得えや Web ならではのリアルタイムでの Q&A のやり取り等を通して製作の仕事について学びました。

受講者からは、現場に出た際の不安などを実際に質問する姿も見られました。



【受講者の声】

「自分がまず何をすべきか、何を目標にするべきかを具体的に理解することができた。」

「初めだから仕方ない、といったことは通じない、プロの世界に飛び込むという自覚を持ち、空気を読み、臨機応変に振舞おうと思えた。慣れない事に全力でぶつかって行きたいと思う。」

以上